



北海道大学工学部

同窓会会報 2022年

2022年7月1日発行

北海道大学工学部同窓会事務局

## 工学部同窓会の皆様へ



北海道大学工学部同窓会長 瀬戸口 剛

会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

### ■SDGs世界ランキング10位

大変喜ばしいことに、北海道大学が「THEインパクトランキング2022」SDGs



部門で総合ランキング世界10位(国内1位)にランクインしました。イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」が今年の4月に発表したもので、世界1406大学中で日本初の世界10位の輝かしい功績です。

SDGs目標別ランキングにおいては、17のSDG目標のうち、「SDG2 飢餓」(世界1位)、「SDG17 パートナリーシップ」(同12位)、「SDG14 海洋資源」(同17位)、「SDG15 陸上資源」(同18位)、「SDG9 産業と技術革新」(同43位)、「SDG16 平和と公正」(同61位)、「SDG6 安全な水とトイレ」(同92位)が世界100位以内にランクインし、高い評価を得ました。工学部での教育研究活動も、本学のSDGs活動およびTHEランキングに大きく貢献しています。(北海道大学×SDGs: <https://sdgs.hokudai.ac.jp/our-journey-with-sdgs/impact-ranking/>)

### ■2年後に工学部創立100周年

北海道大学工学部は1924年に本学3番目の学部として創立され、今年で98年を迎えます。2年後の2024年には創立100周年を迎えることから「工学部創立100周年記念事業実行委員会」を設立し準備活動を始めています。なかでも「100年記念誌分科会」では、記念誌編纂作業の準備を始めています。皆様がお持ちの昔の工学部の資料や写真など、お寄せいただければ幸いです。また、100周年記

念式典を2024年9月27日(金)に予定しておりますので、同窓生の皆様是非ともご参集ください。

100周年の節目を迎えるにあたって、工学部が培ってきた英知を次世代に「つなぐ」ために、6つの次世代育成プロジェクトについて検討しています。北海道大学フロンティア基金による寄付金を活用して、これらの同窓会の皆様と現役の工学系学生や教員が連携する場を創ります。詳細は「北海道大学工学部創立100周年記念事業寄付趣意書」にてご案内します。大学の使命である、わが国の未来を担う次世代を皆様とともに育成したく、ご理解ご支援の程よろしくお願いたします。

### ■工学部の現況

現在の工学部は、応用理工系学科、情報エレクトロニクス学科、機械知能工学科、環境社会工学科の4学科15コースで構成され、いずれも優れた工学理論や工学技術に関する実学を重視し、世界的で活躍できるエンジニアを育成しています。現在では学部生の9割近くが大学院に進学することから、工学部から工学系大学院(工学院、情報科学院、総合化学院)まで連携した教育が進められています。

工学では実学を重視することから産学連携教育を重視し、「工学系教育研究センター(CEED)」が中心となり、主に修士・博士課程学生を対象に国内および海外インターンシップを積極的に支援しています。近年特に求められているDX推進やAI人材の育成に向けては、情報科学研究院および「数理・データサイエンス教育研究センター」が中心となり、トップクラスとなるエキスパート人材の育成に取り組んでいます。国際性の涵養に関して、英語特別コース「e3プログラム」では、英語のみで修士および博士の学位取得が可能で、海外からの留学生を積極的に受け入れています。全学の新渡戸スクールやSummer Instituteなどと連携して、国内外のフィール

ドを舞台に、北大の強みを活かしたテーマで国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成しています。特に、東アジア、ASEAN諸国およびインドの基幹大学との連携教育は、本学の特徴的な国際連携を牽引しています。

研究では学内外の様々な研究機関や企業等と連携し、産官学による社会実装を推進する教育研究拠点を形成しています。なかでも、「ロボスタ農林水産工学国際連携教育研究拠点」「資源・環境国際連携教育研究拠点」「f3工学教育研究センター(宇宙・航空・船舶工学)」および「ビッグデータとサイバーセキュリティの分野融合研究拠点の構築とITトップガン人材の育成」、さらに世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択された「化学反応創成研究拠点(ICReDD)」では、工学系大学院が中心となり「多様な知の融合」を積極的に進め、様々なイノベーションの機会を創造してい

ます。産学連携においては新たに「産学連携アドバイザーチーム」を組織して、企業との共同研究を推進しています。

コロナ禍のなか教育研究活動、特に国際交流は大変苦勞していますが、オンライン講義やハイブリッド演習を積極的に提供して国際教育を発展させており、研究集会などでは多くの国から大学が集まる機会も創出されています。

工学部および工学系大学院ではSciety5.0やウィズコロナ時代に対応するために、産官学の連携により様々なイノベーションを創出し、世界の持続的な発展やSDGsの達成に貢献しています。そのためには、同窓会の皆様とのつながりを大切にしながら、今後もご支援を賜れば幸いです。

最後に、皆様の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げます。

北海道大学工学部HP <https://www.eng.hokudai.ac.jp/>



## 2024年は工学部創立100周年を迎えます。同窓会も100周年です。

～工学部同窓会創立60周年記念誌から(抜粋)～

北海道大学工学部は大正13年9月25日に設置された。同時に校友会と同窓会を兼ねた形で教官、職員、同窓生、学生が結びつく組織が発足し、学部と共に歩み続けた。

第1期卒業生(昭和3年3月)は最初この会を工学部白亜会と名付けたが異議が出て北工会となった経緯がある。古い卒業生の間に同窓会を北工会と呼ぶ方がいるのもそのためである。

昭和16年戦時体制下にあつて政府から種々の規制が加えられ北工会も一時は北大報国会工学部分会の名称が冠せられるに至ったが、戦後再度北工会となった。その後幾多の変遷を経て昭和24年10月1日北工会から分離独立し、今日に至っている。



## 応用理工系学科

学科長 三浦 誠司

応用理工系学科が応用物理学科、応用化学科、材料工学科を統合して発足してから17年が経過致しました。物理学・化学などを基礎とした幅広い工学への応用展開を目指すという理念の下、三つのコース(応用物理工学コース、応用化学コース、応用マテリアル工学コース)にて教育に務めております。また、旧AOから引き続いてフロンティア入試TypeI(応用マテリアル工学コース)、TypeII(応用物理工学コース)や、高専からの編入試などの入試の改善・改革を継続的に行い、受け入れた多彩な学生を世の中に送り出しています。

この数年はご多分に漏れずコロナ禍に振り回される日々でありました。大学院試験などもオンラインを取り入れ、大きく変貌した感があり

ます。無事入学できた方々も、研究指導や講義に取り入れられたオンラインによってやや振り回された感はあるものの、卒論・修士論文・博士論文の発表を乗り越え、多数の学生が社会に向かって無事羽ばたいております。

一方、低炭素化をはじめとする様々な課題に対し、高等教育を受けた学生の数が国の力となっていくことは論を待ちません。このような中、博士学生への経済的な支援が拡充されつつあることも、特筆すべき事柄として御報告いたしたく存じます。設備面の充実も進んでおり、教職員一同、今後も教育・研究になお一層努力して参る所存です。これまでと同様に ご支援賜りたく、どうぞよろしく願い申し上げます。

## 応用物理工学コース

コース長 矢久保 考介

今年度から講義が原則対面となったことにより、応用物理工学コースの学生も教室で毎日リアルな講義を聴くことができるようになりました。まだまだ以前の日常が戻ったとは言い難い状況ではありますが、大学内にも少しずつ活気が戻ってきております。

昨年度からフロンティア入試TypeIIという新しい入学者選抜が始まりました。この入試は、特定の少数科目の試験だけで選抜するもので、高校生を直接コースに入学させることができます。応用物理工学コースでもこの入試を導入することにより、物理学に興味をもっている高校生を全国から15名選抜いたしました。定員の30%をこうした高い学習意欲をもった学生で満たすことで、全コース学生の物理学に対する関心が高まっていくことを期待しています。

大学院への進学率は以前とそれほど変わらず、8割ほどの卒業

生が修士課程に進学し、修士修了者の1割ほどが博士課程に進んでいます。博士充足率を高めるよう外圧がかかる中で、このような博士学生数ではまだまだ不十分と言わざるを得ませんが、ここ数年で博士学生に対する様々な経済支援制度が整備されてきており、これにより今後一人でも多くの学生が博士課程に進学するよう努力しているところです。社会人ドクターも歓迎しておりますので、OB・OGの皆様も是非ご一考ください。

就職状況は決して悪くはありませんが、推薦応募での採用率が下がっているため、10年前と比較すると自由応募で応募する学生数が急増しています。そのため、就職活動に費やす時間も以前より長くなっていると感じます。OB・OGの皆様のお力で推薦応募での採用率を高めていただけると幸いです。

## 応用化学コース

コース長 松本 謙一郎

今年度から対面講義が再開されました。材化棟の二階を歩くと、ドアを開けて講義をしているため、学生さん達の様子がよく見えます。昨年度までは、オンライン講義と厳しい感染予防対策の上での実習で、学生も教員もかなりの労力と忍耐を必要としました。これまでずっと我慢していた反動か、学生達の学習意欲は以前よりもさらに高くなっているように感じます。学ぶことのできる喜びが伝わってきます。留学生の受け入れも再開し、続々と来日しています。担当事務は大忙しで手続きが間に合わないくらいです。我々教員も、ようやく海外出張に行けるようになりました。落ち込むこともありませんが、応化は元気です。

応化コースの卒業生は9割以上が修士課程(総合化学院)に進学し、修士課程修了者の約2割が博士課程に進学しています。博士課程の学生をサポートする様々な制度が整備され、経済的にかなり改善しています。博士号取得後は、企業の技術者として活躍す

る学生が増えています。応化では、社会人ドクターも歓迎していますので、ご関心があれば各分野の教員にご相談ください。就職活動は、オンライン化が進みかなり変化がありました。オンラインでは会社の空気感などを感じにくいという悩みもありましたが、北大の地理的な弱点を補って、むしろ有利に働く側面もありました。最近是对面とオンラインを併用した新しいやり方が模索されているようです。また、例年3月に応用化学独自で開催している「応用化学企業セミナー」には、多くの企業に参加頂いており、学生との重要な情報交換の機会になっています。応化コースでは、アウトリーチも強化しており、最近ウェブページをリニューアルしました。新しいコンテンツもたくさん掲載されていますので、是非ご覧ください。今年度は北大祭が開催される運びです。8月にはオープンキャンパスもありますので、可能ならキャンパスにも足をお運びください。

## 応用マテリアル工学コース

コース長 三浦 誠司

生産冶金工学科として創設された応用マテリアル工学コースは2022年に80周年を迎えます。75周年の際は道内外のOBも多数御参加いただいて記念式典を執り行いましたが、残念ながら今回はコロナ禍のため祝賀会などは行わず、なんらかの方法でコースの一体感をもたらすことができないか、鋭意検討しております。

学会や材料フォーラム、講義などが軒並みオンライン開催となり、また野球大会のような活動も中止、研究室への登校も交代制とするなど、人と会うことが少なくなっていることから逆に、対面が如何に大切か、という認識を共有しております。徐々に対面での活動が広がっておりますが、これらを忘れず、活動一つ一つを大切にしていきたいと存じます。一方において、オンラインによって就職活動における距離の不利がむしろ減っている可能性があり、また社会人博士や海外の

学生とのコンタクトも可能となるなど、指導の難しさはあるものの可能性が大きく広がることそのものは評価されてもよいのかも知れません。おかげさまで就職に関しては例年と同じように活況を呈しており、ほとんどの学生が修士に進学し、そこから就職するというルートは維持されておりますが、さらに博士に進学する学生が増えることを教職員は期待しております。

もちろん研究活動もコロナによって大きく影響されておりますが、そういった中でも、毛利哲夫名誉教授の金属学会賞受賞、大野宗一教授の文部科学省表彰をはじめとする、OBや現役教職員の受賞、多数の学生のポスター講演賞受賞など、我々を力付ける成果も多々得られております。今後とも種々ご支援賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 令和3年秋 叙勲受章者 [2021/11/03]

- 瑞宝中綬章 藤田 陸博氏(北海道大学名誉教授)土木40期(S40年卒)  
瑞宝中綬章 長谷川 英機氏(北海道大学名誉教授)  
瑞宝中綬章 青木 由直氏(北海道大学名誉教授)電子1期(S39年卒)  
瑞宝中綬章 海老江 邦雄氏(北見工業大学名誉教授)衛生4期(S39年卒)  
瑞宝中綬章 坂本 弘志氏(北見工業大学名誉教授)修士機械13期(S42年卒)

### 令和4年春 叙勲受章者 [2022/04/29]

- 瑞宝中綬章 小平 紘平氏(北海道大学名誉教授)  
瑞宝中綬章 大場 良次氏(北海道大学名誉教授)

【瑞宝章(ズイホウショウ)…公務等に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方】

## 事務局より

### ☆本年度の総会

第74回総会は、新型コロナウイルス感染症の影響により6月17日(金)にオンラインでの開催となり、各議案については賛成多数により原案通り承認されました。

また、2024年に工学部創立100周年を迎えるにあたり記念事業として工学部紹介のためのバーチャル工学部の開設、同窓会室・OB交流室を改装してのミュージアムの設置構想等の報告が瀬戸口工学部長(同窓会会長)よりありました。

総会議案は同窓会ホームページからご覧いただけます。

皆様のご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。



ミュージアムのイメージ図

【現同窓会室・OB交流室】

### ☆卒業記念品の贈呈

卒業生・大学院修了生に抗菌性マスクケースを贈りました。



### ☆情報をお寄せください

- ・逝去・消息情報
- ・住所変更はHPから入力できますが、Webを使用されない方は、はがき、FAXでも受け付けております。
- ・同期会の報告(Word、写真)をお寄せください。同窓会HP会員限定の「お知らせ」に掲載しております。

### ☆工学部同窓会も100周年を迎えます

工学部100周年と併せて北工会を前身とする当同窓会も100周年を迎えます。

コロナ禍で、ここ数年会費納入率が下がってきており厳しい状況が続いております。

皆様の会費での運営となりますので、どうぞご協力の程よろしくお願い致します。

また、終身会員及び年会費を納め続けて70才に達した会員は会費免除ですが、会費納入をお忘れの方は一度同窓会事務局までご相談ください。

なお、寄付の受付は随時行っています。

## 編集後記

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻と大変な情勢ですが、少しずつ日常が戻ってきていると感じています。

2024年には工学部創立100周年という大きな節目が迫っております。同窓会は記念事業の実施に向けて全面的に協力していきます。

皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

北海道大学工学部同窓会 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

TEL : 011-706-7131 FAX 011-746-7914

Email : dosokai@eng.hokudai.ac.jp

URL : <https://www.eng.hokudai.ac.jp/dousokai/>

